

経営白熱教室例会

「イノベーション・経営革新」～生産性をどう高めるか？～

8月例会開催を終えて

8月27日に開催された「経営白熱教室」例会は、総務会員拡大委員会が担当させて頂きました。

今回の例会はレクチャー講師をお呼びしての例会ではなく、石川経営研究会の会員から選出されたコーディネーター、パネラーの方々と会場の参加者が自分の考えをぶつけ合う熱いディスカッションが繰り広げられました。メンバーをご紹介します。

<コーディネーター>

◆株式会社ヤマガミ共育社

代表取締役 石野 一樹 氏

<パネラー>

◆株式会社ふらん・どーる

代表取締役 金岩 重典 氏

◆株式会社ディエムエル

代表取締役 千田 昌利 氏

◆株式会社エース

専務取締役 乙村 美智恵 氏

以上の皆さんは石川経営研究会で共に学ぶ仲間達です。

議論のテーマは、経営革新・イノベーション「生産性をどう高めるか？」で展開されました。

2019年4月1日から「働き方改革関連法」が順次施行されます。時間外労働の上限規制、年次有給休暇の確実な取得、正規・非正規雇用の待遇差が禁止など、「働き方改革」に対して皆さまの会社ではどのような取り組みをされて



いるでしょうか？

Google アンケートで事前に会員の方に調査した結果は以下の通りです。

「生産性向上」の取り組みベスト5は、①人財育成・能力開発 ②意識改革 ③賃金制度の改善④業務ローテーション ⑤自社ホームページ受注でした。

本例会は石野コーディネーターの巧みな質問、場づくりでとても雰囲気よく、また熱い想いが会場を埋め尽くしました。



千田パネラーからは有名な稲盛和夫さんのアメーバ経営の実践から、徹底した人時生産性の管理手法の事例が発表されました。日次決算の採用、時間あたり採算性のチェック、時間当たり4,000円

を達成するためにどうするか？といった経営のヒントをたくさん頂きました。



乙村パネラーからは、ITやIOTの導入も大事だが経営者の意識改革（マインド）の方がもっと大事であるという体験談を発表して頂きました。長年取引をしてきた取引先との間でトラブルが発生し、のままでは会社がつぶれてしまうという崖っぷちに立って始めて肝が据わる→本気になる→覚



悟する→考え方が変わる→行動が変わるということでした。理論も大事だけれども、トップが命懸けにならなければイノベーションはなかなか成功しないという素晴らしいお話でした。



パネラーの発表に触発され会場からも質問、自分の会社の成功事例、失敗事例のご意見が多数あり、いろいろなツールを活用した生産性の向上も大事だが、経営理念からくる経営者のマインドセットも大事という気づきが得られました。白熱教室例会は来年も開催される予定ですので、たくさんの成功事例・体験談をご用意してまたのご来場をお待ちしております。



総務会員拡大委員会の皆さんと
コーディネーター、パネラーの皆さん

総務会員拡大委員会の活動

総務会員拡大委員会では、毎月行われる例会でオブザーバー参加されている方で、当会へ入会を検討されている方を促進する活動を行っております。また、石川経営研究会の重要事項を意思決定する総会の準備と運営も行っております。今後とも会員さんがたくさん増えて活発に議論する会を目指して活動していきます。ありがとうございました。



総務会員拡大委員長 古道 雅士

新入会員紹介

みなさま、こんにちは。社会保険労務士の服部です。研究会では毎回、多くの刺激やヒントをいただき、心より感謝申し上げます。

私の生まれは愛知県名古屋市で、社会に出てから2度目の転勤で当地金沢にやってきました。爾来、

四半世紀を金沢で過ごし、10年前から社労士事務所を運営しています。現在の所員数は4名。日々、自らの経営体験や専門知識を活かし、中小企業の人事労務サポーターとして頑張っています。労働問題解決や助成金提案が得意領域です。

入会のきっかけは、竹野さんのお誘いです。動機はそれほど強いものではありませんでしたが、20年ほど前、SCまで参加していたため、二つ返事で入会を決めました。

将来ビジョンは、60歳までの7年間で事務所のファン（お客様）を倍に増やすこと。お客様の解決課題を見つけ、お客様視点で解決することを信条とし、日々業務に邁進して参ります。今後とも宜しく願い申し上げます。



総務会員拡大委員会 服部 英明